

人と防災未来センター 平成 24 年度事業評価

評価単位	評定	委員コメント
展示事業	A	・展示に多大の努力が払われているが個人の来館者は減少している。企画展は集客力があり、優れた内容の企画展が増えることが望まれる。 ・企画展には労力を要するが、一般客の理解しやすいものが望まれる。
資料収集 ・保存事業	A	・他機関への資料の公開、利活用、あるいは他の機関との資料ネットワークなど評価すべき事業が行われている。 ・地道な努力が重ねられている。 ・資料ネットワークが構築され、使いやすくなっているのは評価に値する。
実践的な防災研究 と若手防災専門家の育成事業	A	・東日本大震災、南海トラフ地震等を対象として、社会との関わりにおける研究が進んでいる点が評価できる。 ・若手研究員も順調に育成されている。個別の研究のみならず、大学での講義等も育成には有用である。 ・内閣府とのプロジェクト研究は評価出来る。
災害対策専門職員の育成事業	A	・研修の受講者は目標を大きく超えているものの、開催回数は目標値に止まっている。また、トップフォーラムも極めて意義深いと理解しており、開催回数を増やすリクエストもあるようだが目標値に止まっている。意義深いだけに開催回数を増やすことが望まれる。
災害対応の 現地支援事業	N/A	・センター職員の努力不足ではなく、外的環境が活動の場を与えなかったと認められ、センターとしての活動度の評価はできない。 ・よって、今年度は評定も行わない。
交流ネットワーク 事業	S	・これまでの活動に加えて、リレー講座が始まったことは多いに意義のあることであり、回を重ねることで交流・ネットワーク事業の柱になることが期待される。 ・その他の交流・ネットワーク活動も評価しうる。

*評価基準 (4段階評価)

S : 大変評価できる

A : 評価できる

B : あまり評価できない

F : 評価できない